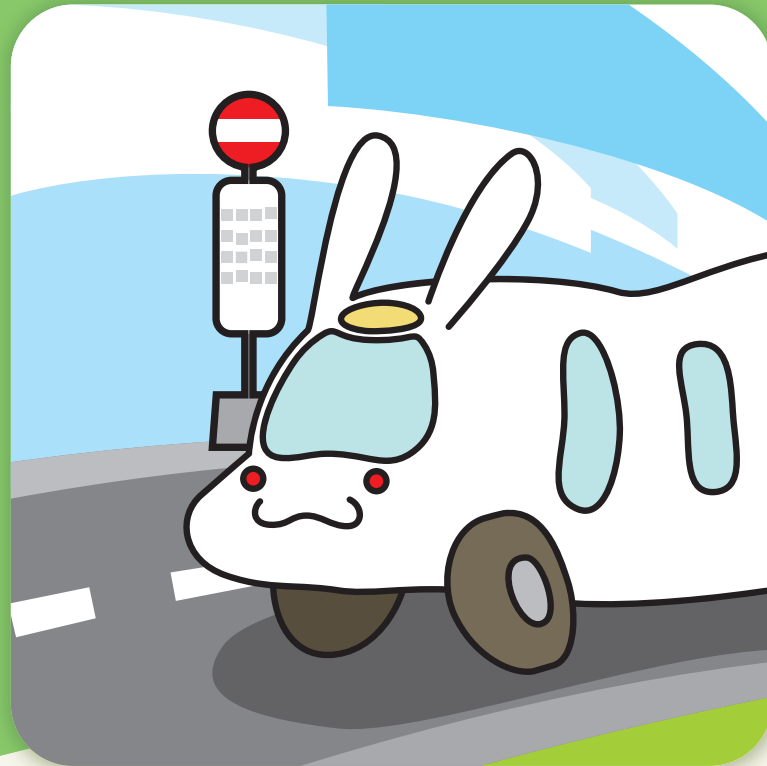




ラビピカ RabiPeoCa

かんたん導入
安価な運用費

地方向け小規模公共交通事業乗降管理システム

地方で頑張る
バスやタクシーを
サポート！



Point

ラビピカ
RabiPeoCa アプリの **特徴**



小規模事業対象



キャッシュレス



利用実態調査



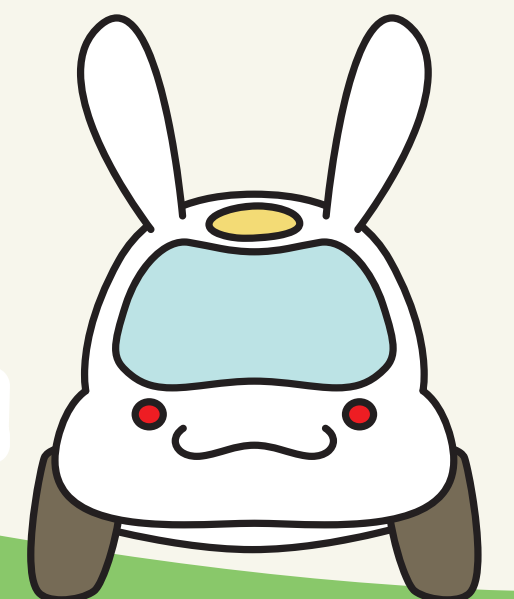
Webで管理

地方の小規模コミュニティバスを対象に開発！

ICカード対応でキャッシュレス乗降を実現！

ODデータ（乗降バス停のペアデータ）を取得！

乗降調査に役立つ利用実態を把握することも可能！



導入のメリット

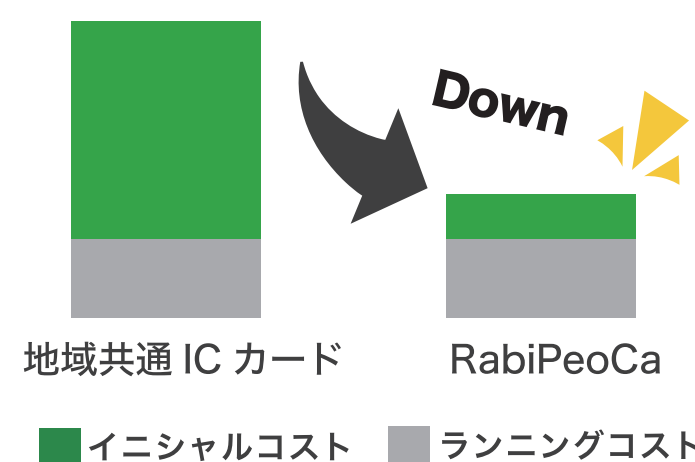
1 利用傾向を把握

- ✓ 便・日付・曜日ごとにデータ取得
- ✓ 利用者の乗降データを取得
- ✓ バス停の需要を把握

便・日付・曜日ごとにデータの取得ができ、詳細な利用傾向を把握することができます。利用者がどこで乗って、どこで降りたのかをデータで取得することができ、バス停の需要を把握することができます。

スマートフォンアプリを活用し
継続的に運行中の様々なデータを取得

2 低コストで導入可能



スマホとアプリの利用により
導入コストを安価に抑えることを実現

3 扱いやすい設計



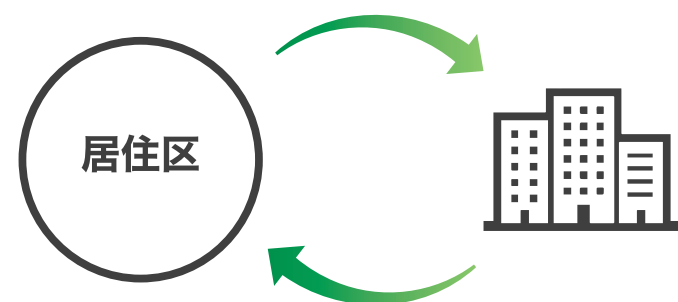
車内に装置を設置して走るだけ！
データはWEB上で管理

導入の目的と効果

RabiPeoCa では乗降データの継続的な取得、地域公共交通の課題分析ができます。
乗降データの取得により、今まで **不鮮明だった移動実態を明らかにすること**ができます。

移動実態の例

1 各地区から街の中心部へ日帰り



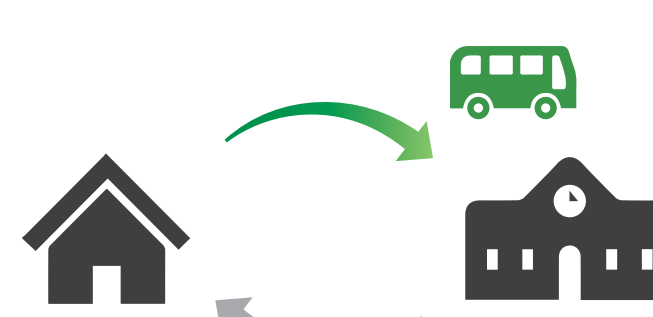
居住エリアに合わせた
運行ルート見直し

2 用事を済ませたあとスーパーからバスで帰る



大型スーパーと連携
待合所の整備

3 高校生が登校時のみバスを利用している



潜在的需要あり

4 街の中心部から温泉の利用



シャトルバスの検討



ラビピカ
RabiPeoCa

地方向け小規模公共交通事業乗降管理システム

RabiPeoCaを使用した実証実験

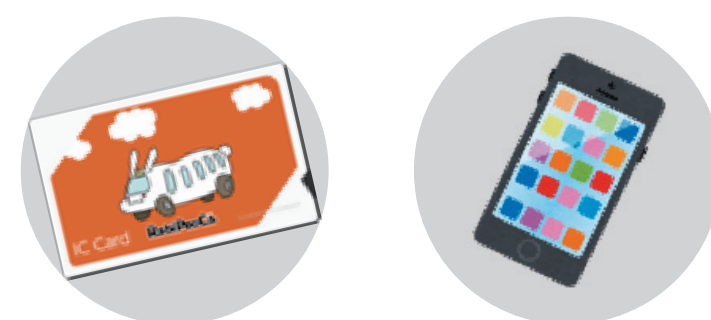
導入内容

RabiPeoCaの設置



乗降口にRabiPeoCaを設置

ICカード & スマホアプリ



利用者はバス乗降時、ICカードまたはスマートフォンを機械にかざす



乗降データの取得



- ✓ バスから乗降データを取得
- ✓ WEBブラウザで管理

① コミュニティバスでの実証実験



Suica等の専用車載機器に比べ、非常に安価な導入が可能

② タクシーでの実証実験



ドライバーが操作することで、タクシーやデマンド型交通でも活用可能

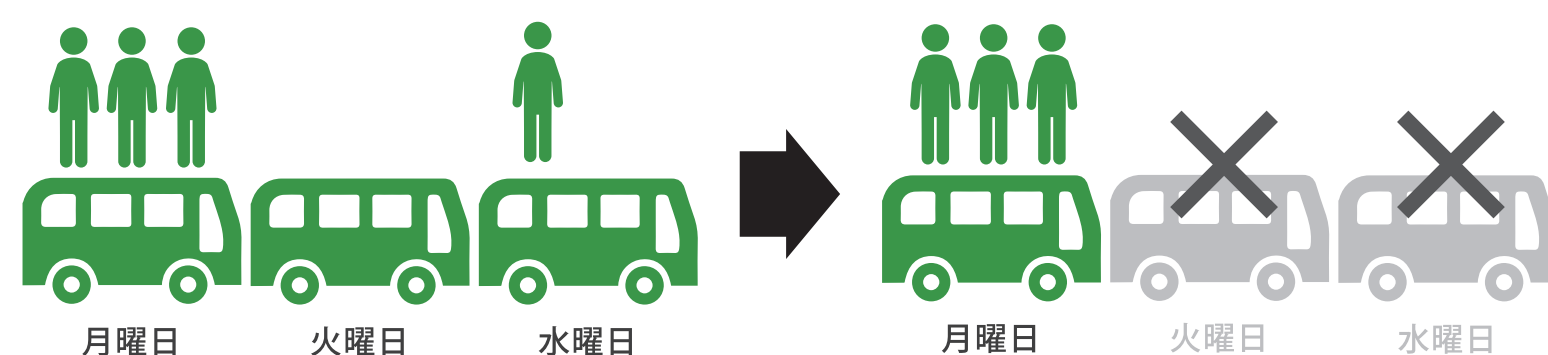


RabiPeoCa 実証実験結果

利用頻度

case01

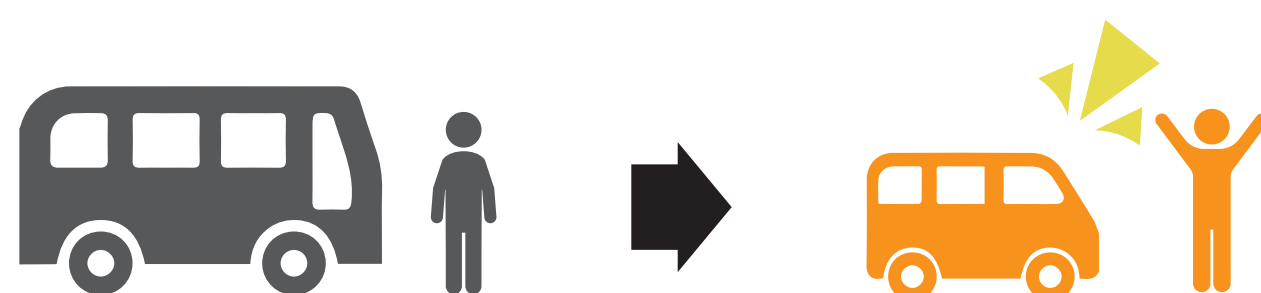
利用者数 **多** 利用頻度 **低**



運行する曜日をまとめ、曜日運行に

case02

利用者数 **少** 利用頻度 **高**



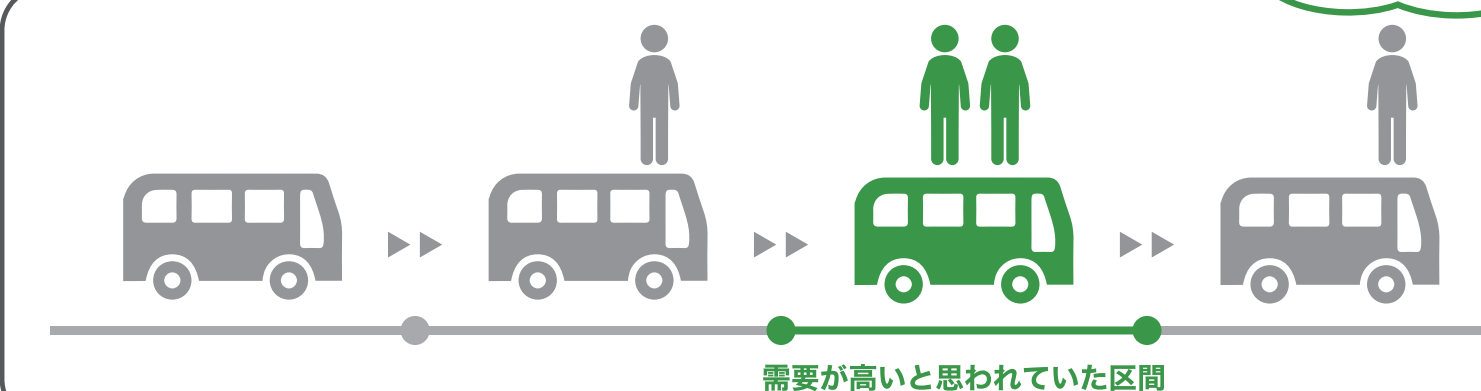
車両を小型化

利用頻度を分析し、運行の効率化を図ることが可能！

RabiPeoCaはデータ取得を日時単位で行えるため、詳細な分析を行うことができ、**運行の効率化を図ることができます**。上の図は、利用頻度の分析から特定の曜日での運行に変更した事例と、小型化車両に変更して運行を継続した事例です。

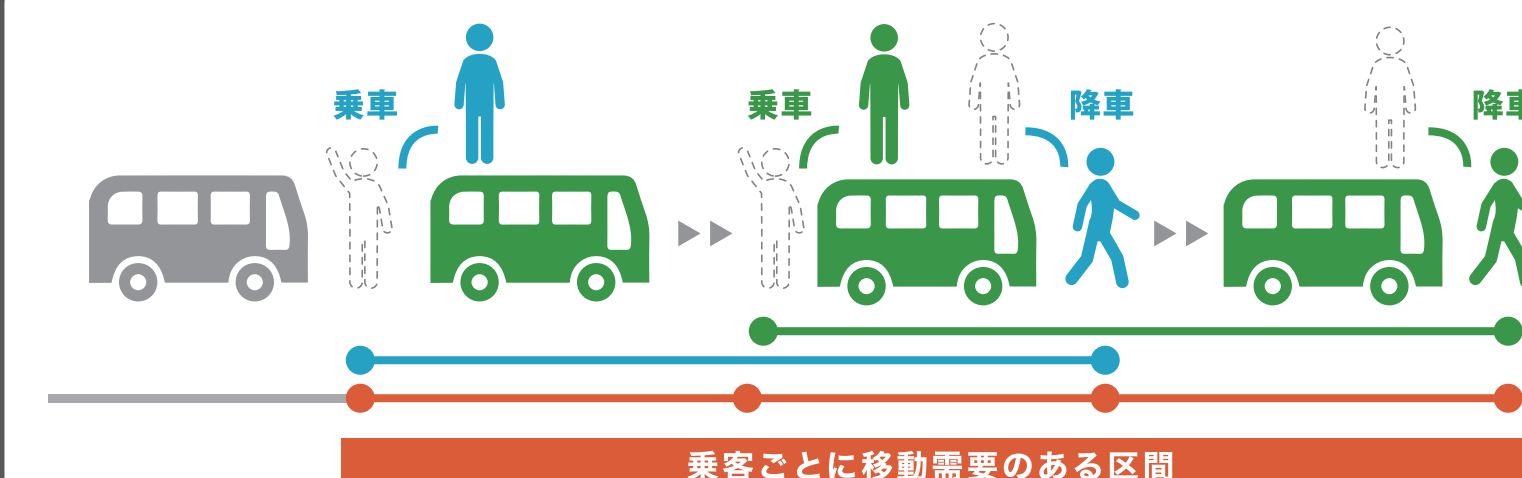
車内人数の把握

従来のデータ取得



RabiPeoCaでデータを取得すると...

RabiPeoCaのデータ取得



乗降ペアデータにより本当の移動需要を把握できる！

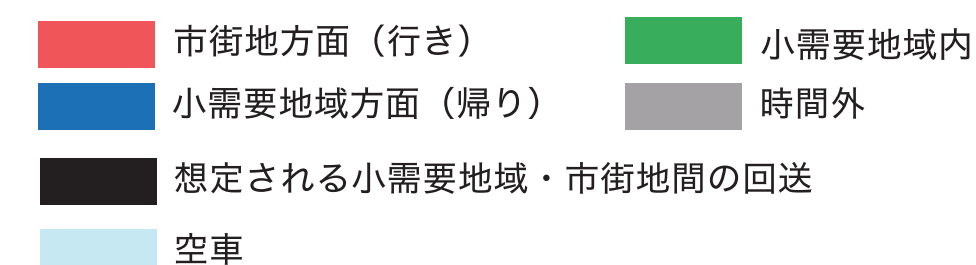
従来の車内人数を取得する方法では、車内人数の多い区間を需要の高い区間としていましたが、RabiPeoCaは搭乗者一人一人の「**乗ったバス停**」「**降りたバス停**」をペアデータとして取得できるため、**需要の高い区間を細かく特定**することが可能です。



RabiPeoCa によるデータ分析事例

タクシーでの実証実験

運行車両の効率性の検証（稼働状況・配送回送の状況）



実車走行・回送等の情報により
配車回送を少なくする
効率的な運行を提案

タクシー利用運賃の試算

通常利用



地区	実車運賃	人・乗車あたり負担額
〇〇地区	146,150円	1,923円
△△地区	77,060円	3,082円

相乗り利用



地区	実車運賃	人・乗車あたり負担額
〇〇地区	146,150円	937円
△△地区	77,060円	1,137円

GPS 走行ルート、
乗車人数等の情報より、
費用感を提示した
効率的なタクシー利用を提案



導入対象の課題と解決策

利用実態の調査



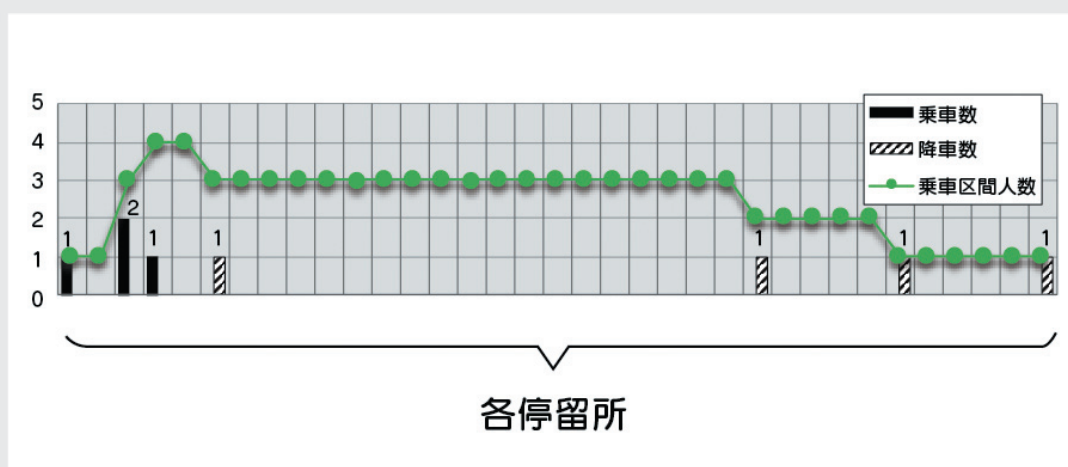
Q. コミュニティバスがどのくらい利用されているのかを知りたい。

解決！

便・日付・曜日ごとにデータの取得ができ、詳細な利用傾向を把握することができます。



● 便・日付・曜日ごとの集計



コミュニティバスの新設



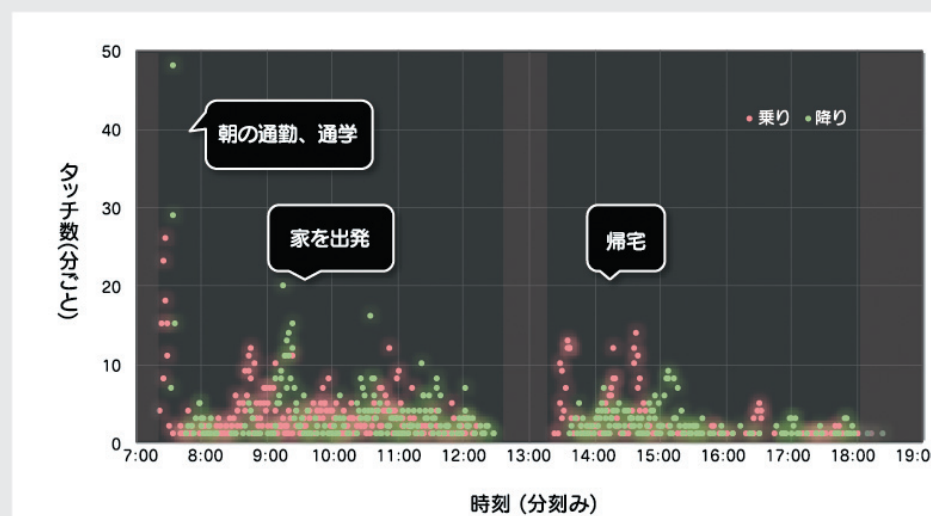
Q. 新規でコミュニティバスを運行したい。

解決！

試験運行時のデータを分析することで、本格運行時の路線・ダイヤグラム・車両サイズ等を効率よく配置することができます。



● タッチ時刻の分布



紙製チケットのコスト削減



Q. 紙製の乗車券を廃止し、電子チケットのシステムに変更したい。

解決！

ICカード、スマートフォンアプリの導入によって、紙製チケットのコスト削減、利用区間のデータ取得・分析を行います。



● 1kmメッシュの利用分布





今後の活用方法

活用方法その1

地域医療と連携

利用者から取得した移動データと医療データを組み合わせることで、**地域医療への貢献が期待**されます。
例えば、「毎日〇〇km以上移動する人は健康寿命が〇〇年伸びる」等の得られたデータを参考に、健康意識を促す活動を行うことで地域医療への貢献が期待されます。



活用方法その2

高齢者のみまもり

高齢者の1日の移動データを取得し、見守ることができます。
移動データをリアルタイムで取得するため、位置がわかるサービスが期待できます。高齢者だけでなく、幼稚園送迎バス等にサービスを導入することで、送迎バスの位置等の確認も可能になります。



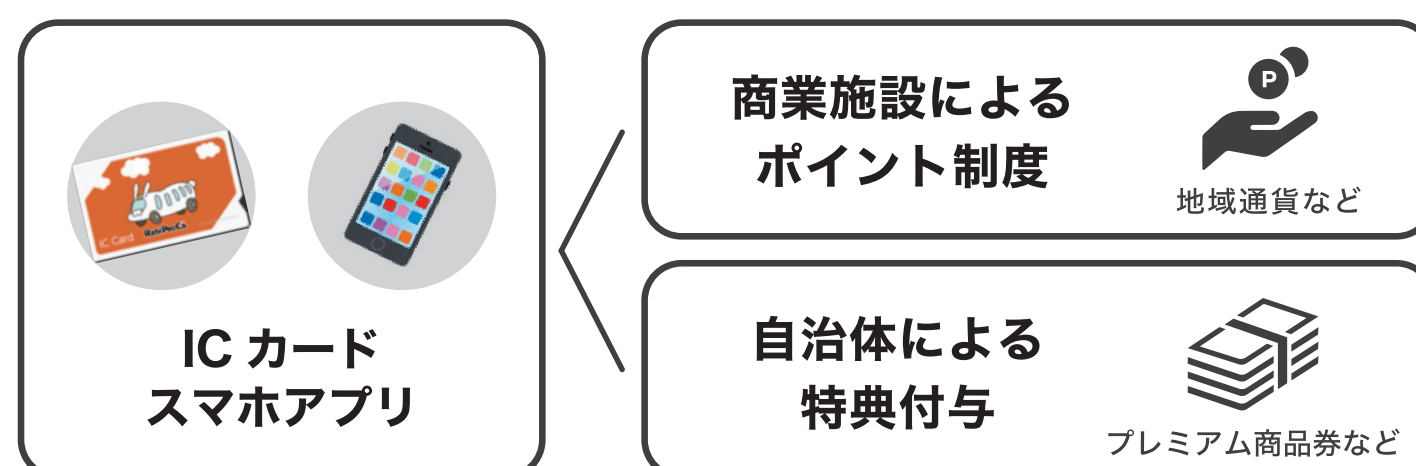


今後の活用方法

活用方法その3

地域経済活性化

地域の自治体や商業施設と連携して、ポイント制度、特典付与の導入が可能です。ポイント制度の導入によって、交通事業者や自治体と一体となった賑わいが創出し **地域活性化**につながります。



地域活性化に
つながる

その他にも

データ関係次第で 様々な活用が可能！



位置情報の取得や利用実態などを活かして、
幅広いサービスや取り組みに役立てることができます！